

# 新幹線プレス

2015年5月30日 No.225

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 効果的な熱中症対策を！！

5月25日、名古屋の在来線の運転士・車掌があいついで熱中症で倒れました。この事は、新聞でも報じられ、この夏のJR東海の暑さ対策が注目されています。

## 体調が悪くなったら申告を?!

新幹線地本は、今回の熱中症事件に関して、新幹線鉄事に対策をとるように迫りましたが、会社の窓口は、「東海鉄事で起きたことなので幹鉄時として対策はとらない」「体調不良になったら申告してください」と、信じがたい回答をしました。

### 窓口折衝要旨

5月28日

- 組合 東海鉄事の名古屋の運転士と車掌が熱中症になった事は知ってますか。  
 会社 詳しくは解らないが知っている。  
 組合 5月は平年より暑い幹鉄事は名古屋の事象を踏まえ対策は考えているのか。  
 会社 東海鉄事で事なので幹鉄事は考えていない。  
 組合 東海鉄事は夏服を前倒しで着用するとしている。  
 会社 幹鉄事では所定の衣替えで夏服にする。  
 組合 もし乗務員が熱中症で倒れたら会社が労災発生するかもしれないのに放置したことになり大変なことになる。  
 会社 体調が悪くなったら列車を止めて指令に報告、職場では管理者に申し出てください。  
 組合 暑さに弱い社員は夏服で乗務したいと申し出をしても良いか。  
 会社 個別の人だけが夏服は出来ない。  
 組合 東海鉄事に起きた事で幹鉄事では、会議等を開催して話し合ったのか。  
 会社 開催していない。  
 組合 熱中症に対して職場で十分水分補給をして暑いですが頑張ってください等の注意喚起もしない。社員に対して考えていないのはおかしい。  
 会社 従来通り健康管理に対して注意喚起はしている。熱中症対策も従来通りしている。  
 組合 それは夏の時季で5月の異常な天候でどうするかの話である。  
 組合 乗務員職場以外の駅や車両所等では夏服の着用を認めても良いのでは。  
 会社 現状で対応と考えている。  
 組合 ビルの中で空調が利いている所や車内は涼しいがホーム等の外は暑くて社員は大変だ。車椅子対応は件数も多く駅を動き回っている。車椅子を押してホーム上で倒れたら線路に落ちて大変な事故になる。職場単位で管理者の判断でその日の天候で上着を脱いで良いと指示しても良いのでは。  
 会社 その様な考えは無い。  
 組合 社員に対して健康について注意を払うように。  
 会社 社員の健康については今後も考えていく。

車掌も熱中症に?

JR東海運転士搬送

JR東海運転士搬送

他社夏服 衣替えきょうに前倒し